

# 和剣

VOL. 21

2007年10月11日

和歌山県スポーツチャンバラ協会  
〒640-8033 和歌山市本町4丁目32番地  
TEL 073-433-7720  
FAX 073-433-7730

1. 第4回和歌山県大会実行委員会と第6回合同稽古の結果。

9月25日に本町道場で、会長、理事長、澤田、石上、岡崎、由良、柚岡（太）の7名が出席して、大会への参加申し込み者数、大会運営方針等について最終協議をしたあと、「検査役制度の再認識」について会長から説明、その後、時間が許すまでの間、自主稽古をしました。

2. 「自灯館」の稽古へのテレビ取材の結果。

10月5日のテレビ和歌山の取材当日の稽古には、石上理事と門人6名、柚岡理事（近鉄カルチャー）と門人2名の計10名に加えて、崎山 裕君（友朋館）と会長の2名が参加しました。番組は13日の午後6時から「紀の人クローズアップ」というタイトルで放送されます。

3. 第4回和歌山大会の結果。

10月8日に和歌山県立体育館で開催した、第4回大会へは県外からの参加者も含めて96名の選手が集結しました。大会役員16名、審判団及びクラブ代表者21名に加えて、運営委員として大友館のスタッフ、各クラブ責任者、会員の保護者など多数の皆様が応援してくれました。総勢で百数十人を超える関係者が県立補助体育館へ参集する、盛大で、熱の入った大会になりました。テレビ和歌山による大会取材（大会当日の夕方の「ニュース」で放送。）が入り、朝日新聞社からの取材（9日付の朝刊「和歌山版」に掲載。）もありました。

成績としては、大友館の谷本樹希斗選手が「基本動作（小学校低学年の部）」で見事に優秀賞の栄冠（金メダル）を獲得して、大会に華を添えてくれました。何事につけても、全ては“基本”の習得から始まりますから、今後、“メダルを手にする”和歌山県の選手が次第に増えて来ることでしょう。決して、“勝つ”為だけにスポーツチャンバラを稽古している訳ではないのですが、「負けた悔しさと、勝った喜び」を数多く体験すればする程に、人は強く、逞しく、そして優しい人間に成長して行くと教えられています。

4. 「秋の自然に親しむ集い」（「スポーツチャンバラ体験会」）への出講が間近です。

日時：10月20日（土）。午後2時30分～4時30分。

場所：和歌山市立少年自然の家。

スポーツチャンバラのロゴ・マークが頭わすとおりの、原始の自然に還って、スポーツチャンバラを親子で体験する企画です。参加した皆さんにはレクリエーション・スポーツ、或いはファミリー・スポーツとしてのスポーツチャンバラを存分に楽しんで頂きましょう。

☆成功した第4回和歌山大会☆

今回大会が関係者の工夫と奮闘の賜物として成功裏に終わったことを喜び合いましょう。大阪協会事務局と大阪府下の各クラブからの多大な支援に加えて、兵庫県と奈良県の両協会も選手と審判員を派遣してくれました。大会の感動の余韻が冷めない内に、今回大会について、良かった点、改善すべきこと、或いはより良い企画などの意見をFAX、又はメールで届けて下さい。そして、皆で意見を交換し合う機会を近日中に設け、来年の第5回大会へ向けての基盤（「ノウハウ」）造りに努めて参りましょう。（会長 安田孝雄）